

令和6年の相模原市の自殺に関する統計について

この度、神奈川県警察本部から令和6年（令和6年1月から同年12月まで）における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況を、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

なお、今回の統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

統計の主な内容（詳細は、別紙統計資料をご覧ください。）

- 令和6年における市内の自殺者数は、132人となっている。
- 年代別では、50歳代が最も多く、次いで20歳代の順となっている。
- 男女別では、男性が65.9%を占めている。
- 職業別では、無職者が60.6%を占めている。
- 原因・動機別では、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題の順となっている。
- 自殺者の16.7%に自殺未遂歴がある。

令和6年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から令和6年(令和6年1月から同年12月まで)の自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、相模原市分の集計・分析を行ったので、その結果を報告する。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年齢階級別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

※割合(%)については小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

令和6年の相模原市内の自殺者数は、前年から3人増加し、132人となった。

自殺死亡率は、前年から0.4ポイント増加した。また、5年平均の自殺死亡率の推移では、前年の5年平均から1.6ポイント増加となっている。(表1, 表2, 図1)

< 表1. 自殺者数・自殺死亡率の推移 >

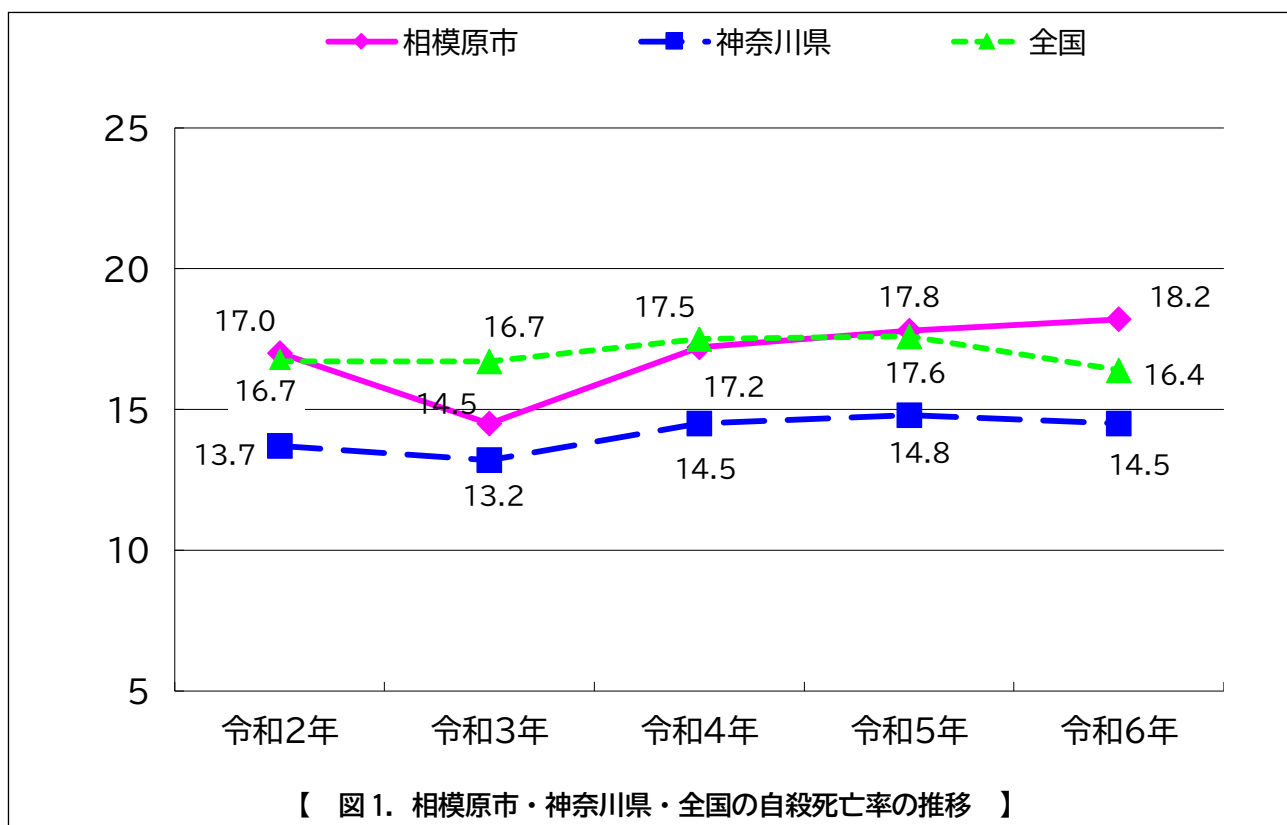
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
相模原市自殺者数(人)	123	105	125	129	132
相模原市自殺死亡率	17.0	14.5	17.2	17.8	18.2
神奈川県自殺者数(人)	1,269	1,222	1,337	1,366	1,342
神奈川県自殺死亡率	13.7	13.2	14.5	14.8	14.5
全国自殺者数(人)	21,081	21,007	21,881	21,837	20,320
全国自殺死亡率	16.7	16.7	17.5	17.6	16.4

※自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数

※全国の自殺者数及び自殺死亡率は、毎年3月発表の厚生労働省資料から抜粋

< 表2. 自殺死亡率の推移(5年平均) >

	平成28-令和2年	平成29-令和3年	平成30-令和4年	令和元-5年	令和2-6年
相模原市自殺死亡率	13.7	14.0	14.1	15.3	16.9



2 自殺者の年齢階級別・男女別状況

令和6年の年代別自殺者数は、50 歳代が31人で全体の23.5%と最も多くなっている。また、10歳代は5人で全体の3.8%と、前年から3人、2.2ポイントの増加、80歳代は17人で全体の12.9%と、前年から11人、8.2ポイントの増加となった。(表 3)

男女別自殺者数の割合は、男性が65.9%を占めている。(表 4)

男性は50 歳代が最も多く24人、女性は40歳代が最も多く8人となっている。(図 2, 図 3)

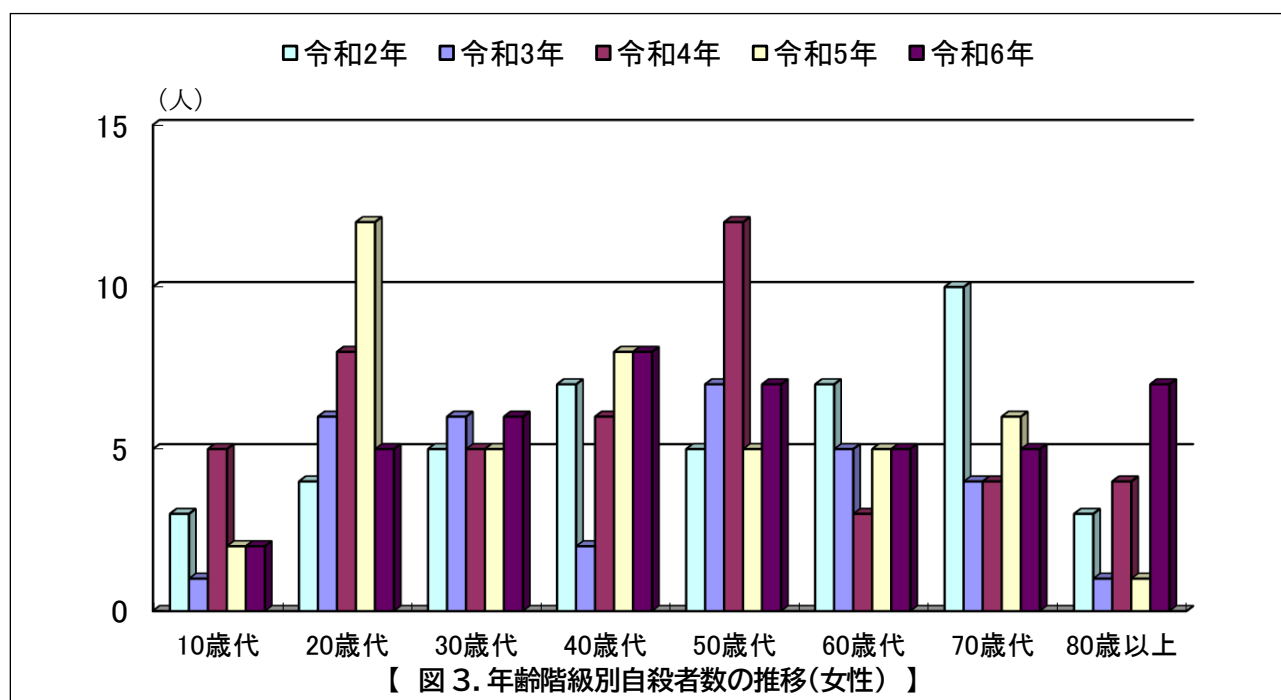
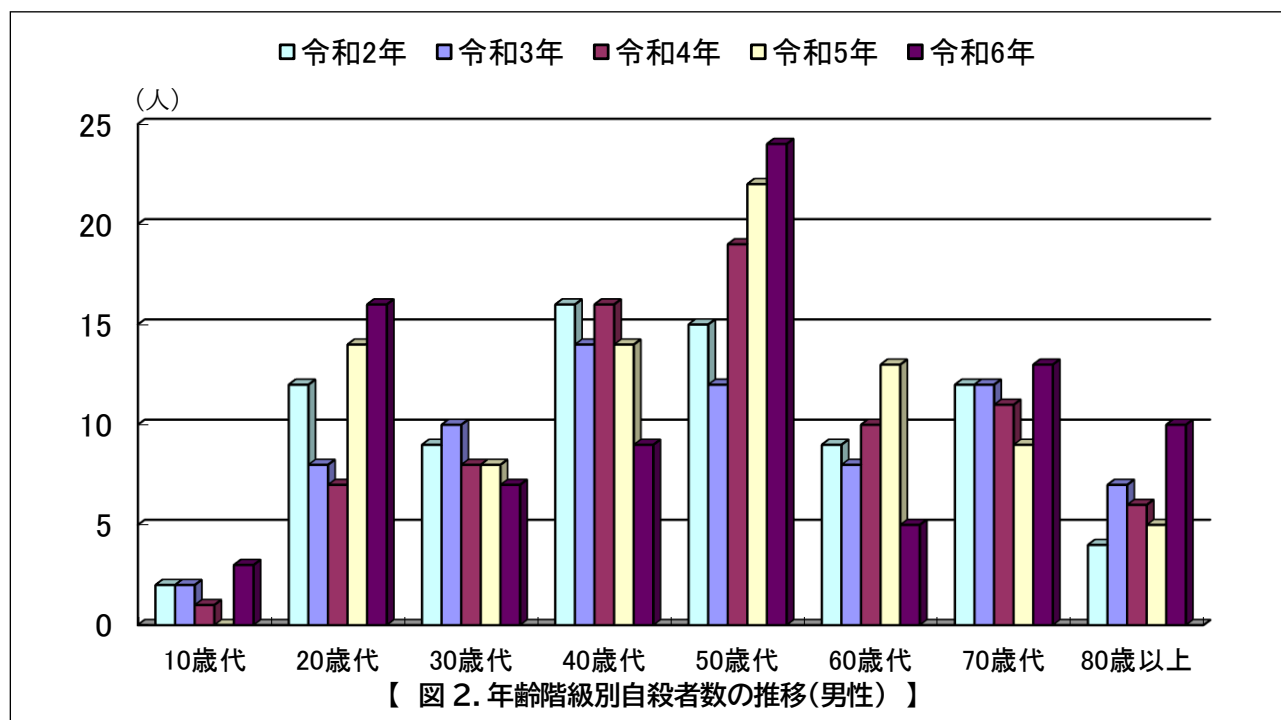
年齢階級別自殺者の男女割合は、60歳代で同率の他は、全ての年代において男性が上回っている。(図 4)

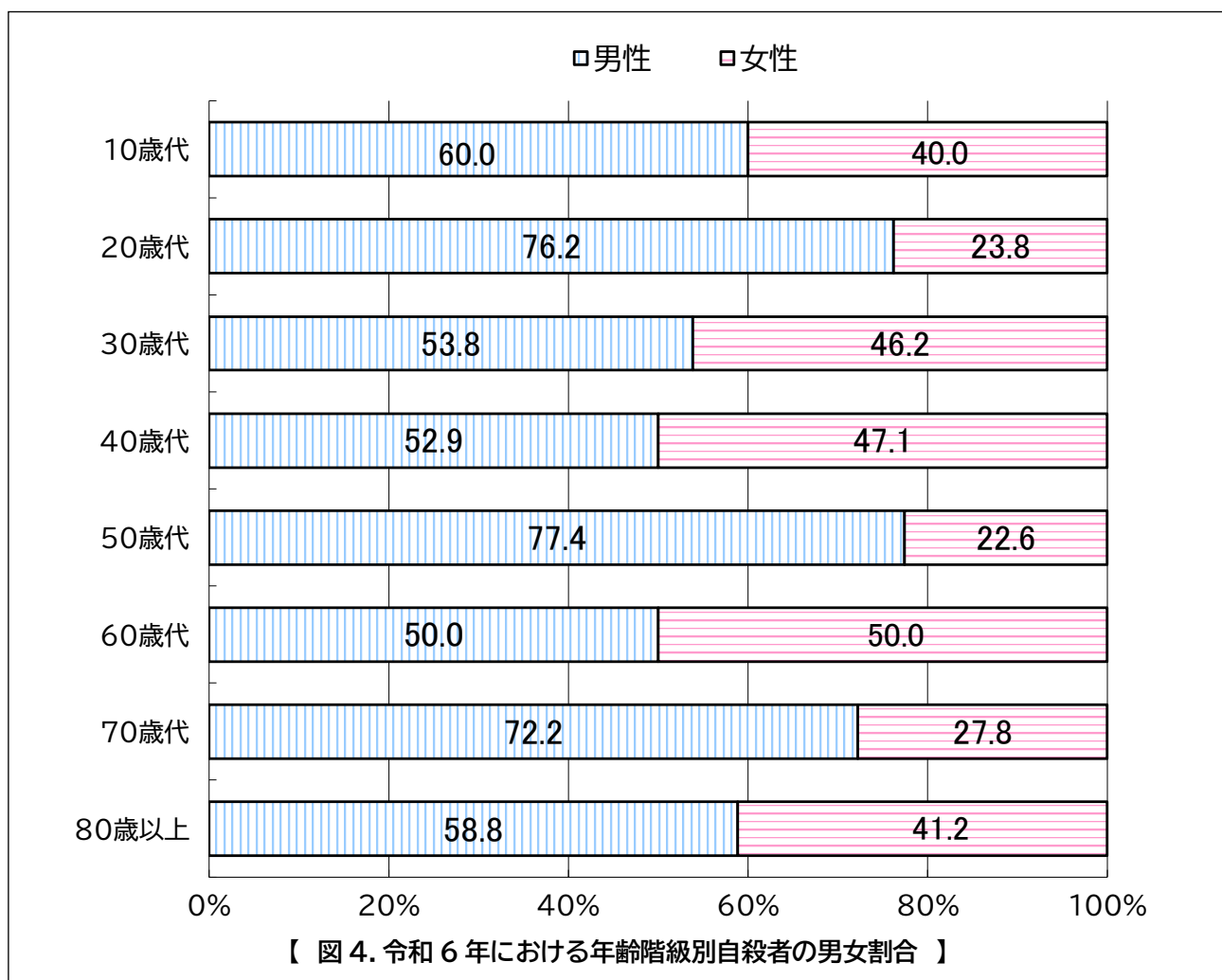
< 表 3. 年齢階級別自殺者数と割合 >

	令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
10 歳代	5	4.1	3	2.9	6	4.8	2	1.6	5	3.8
20 歳代	16	13.0	14	13.3	15	12.0	26	20.2	21	15.9
30 歳代	14	11.4	16	15.2	13	10.4	13	10.1	13	9.8
40 歳代	23	18.7	16	15.2	22	17.6	22	17.1	17	12.9
50 歳代	20	16.3	19	18.1	31	24.8	27	20.9	31	23.5
60 歳代	16	13.0	13	12.4	13	10.4	18	14.0	10	7.6
70 歳代	22	17.9	16	15.2	15	12.0	15	11.6	18	13.6
80 歳以上	7	5.7	8	7.6	10	8.0	6	4.7	17	12.9
総計	123	100	105	100	125	100	129	100	132	100

< 表 4. 男女別自殺者数と割合 >

	令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
男性	79	64.2	73	69.5	78	62.4	85	65.9	87	65.9
女性	44	35.8	32	30.5	47	37.6	44	34.1	45	34.1
総計	123	100	105	100	125	100	129	100	132	100





3 自殺者の職業別状況

令和6年の自殺者の職業別状況は、「無職者」が80人で全体の 60.6%を占めている。前年から「無職者」は18人増えた。一方「有職者」は10人減り、割合も減少した。(表 5, 図 5)

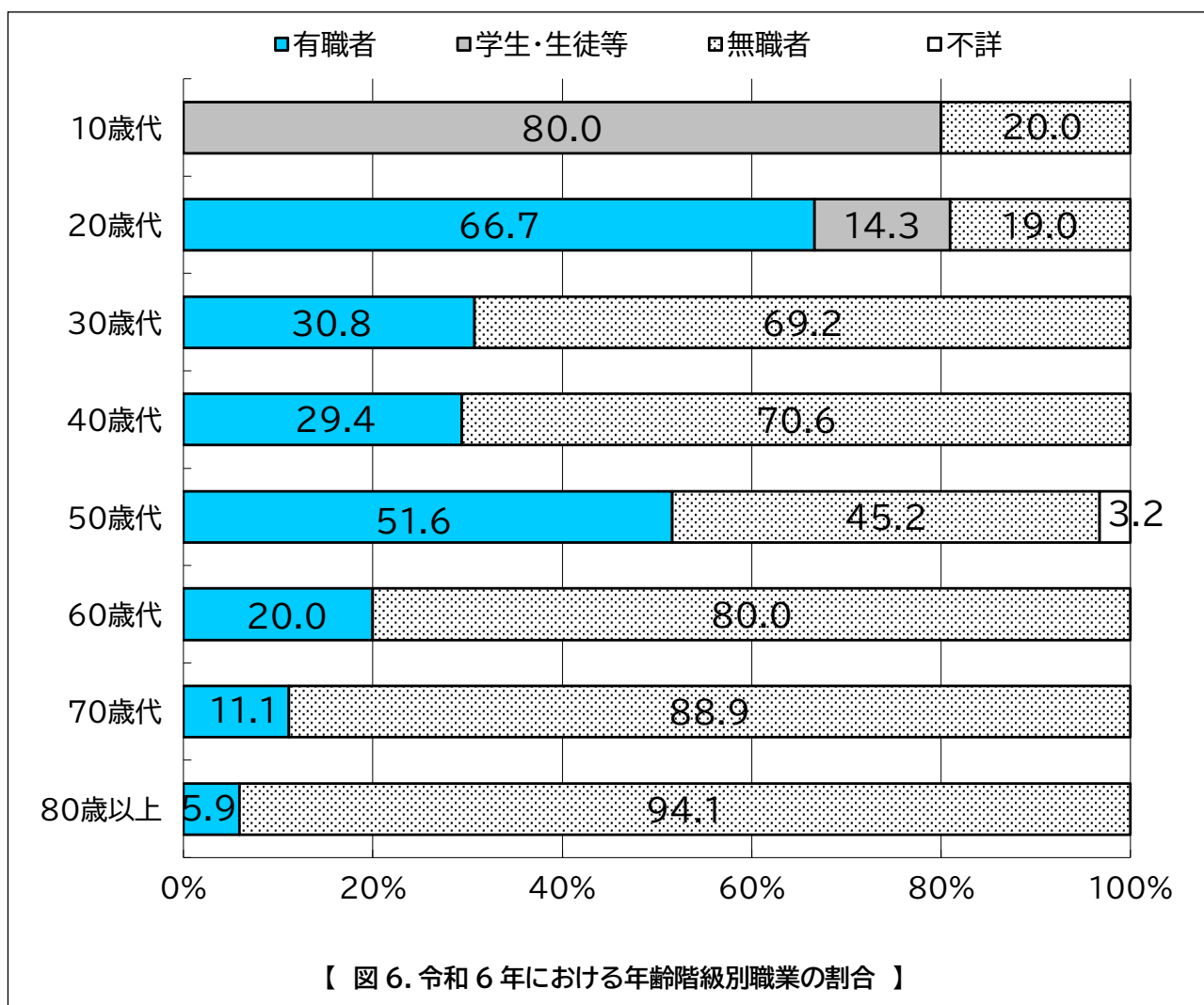
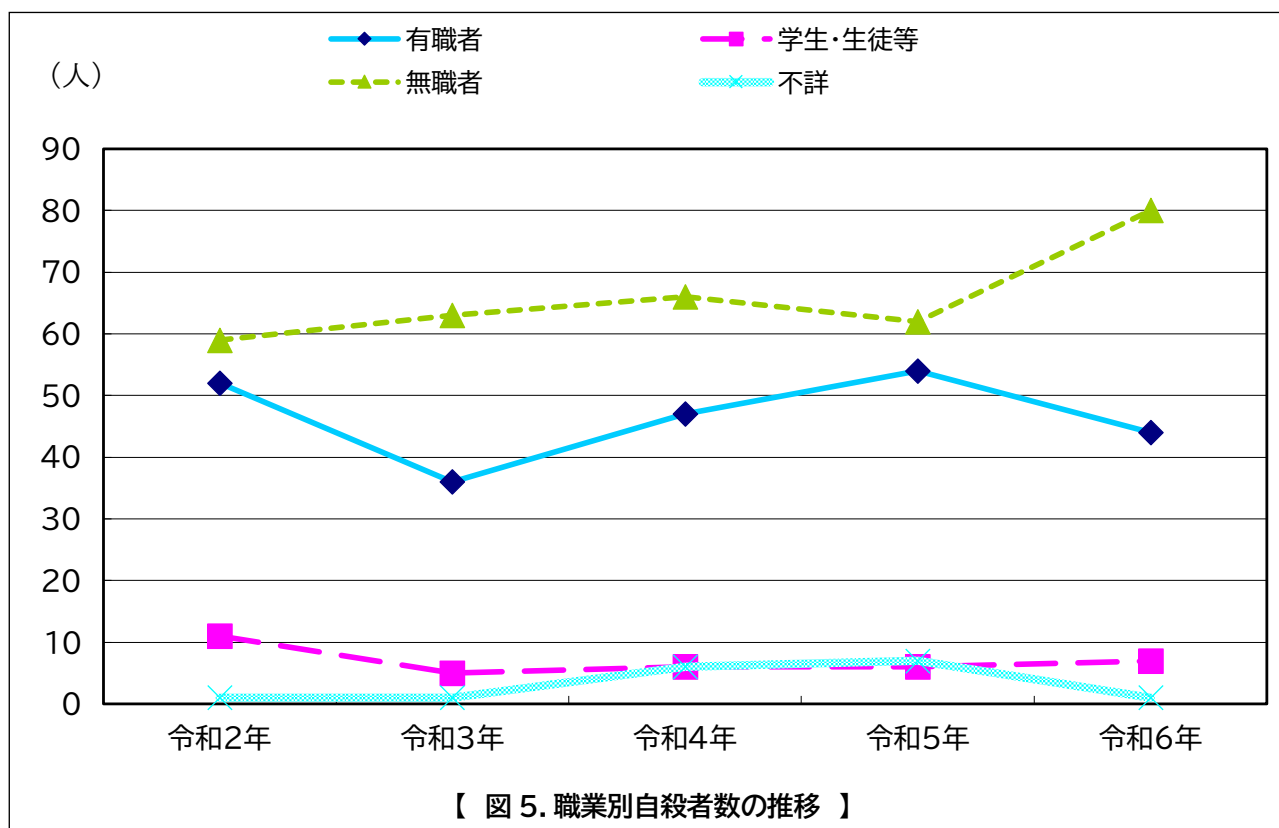
年齢階級別職業の割合は、30歳代以上の年齢で 50 歳代を除き「無職者」の割合が50%以上と高くなっている。(図 6)

< 表 5. 職業別自殺者数と割合 >

	令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
有職者	52	42.3	47	34.3	47	37.6	54	41.9	44	33.3
学生・生徒等	11	8.9	6	4.8	6	4.8	6	4.7	7	5.3
無職者	59	48.0	66	60.0	66	52.8	62	48.1	80	60.6
不 詳	1	0.8	6	1.0	6	4.8	7	5.4	1	0.8
総計	123	100	125	100	125	100	129	100	132	100

※有職者に関して、令和 3 年までは「自営業者」と「被雇用者・勤め人」と区分が分かれていたが、令和 4 年からは「有職者」に統合された。

※無職者には、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金受給者、雇用保険受給者、生活保護受給者、ホームレス、その他の無職者等が含まれる。



4 自殺の原因・動機

令和6年の原因・動機別の自殺者の割合は、「健康問題」44.7%、「経済・生活問題」18.8%、「家庭問題」15.9%の順で高くなっている。前年より「健康問題」が14人、11.2ポイントの増加となっている。(表6, 図7, 図8)

年齢階級別では、10・20歳代、50歳代では「経済・生活問題」が第1位で、その他の全ての年代で「健康問題」が第1位となっている。(表7)

職業別では、不詳を除くと、学生・生徒等で「家庭問題」と「学校問題」が多く、無職者では「健康問題」が多い。(図9)

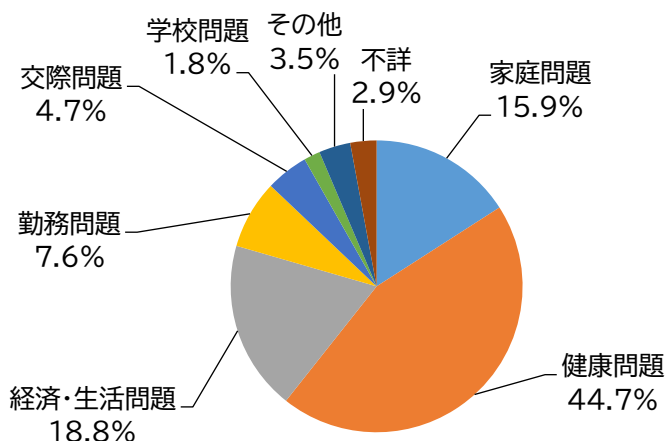
無職者のうち「失業者」では「経済・生活問題」が多くなっている。(図10)

原因・動機の判断材料としては、自殺者の62.7%が「その他の生前の言動、家族等の証言」で判断材料を残している。(表8)

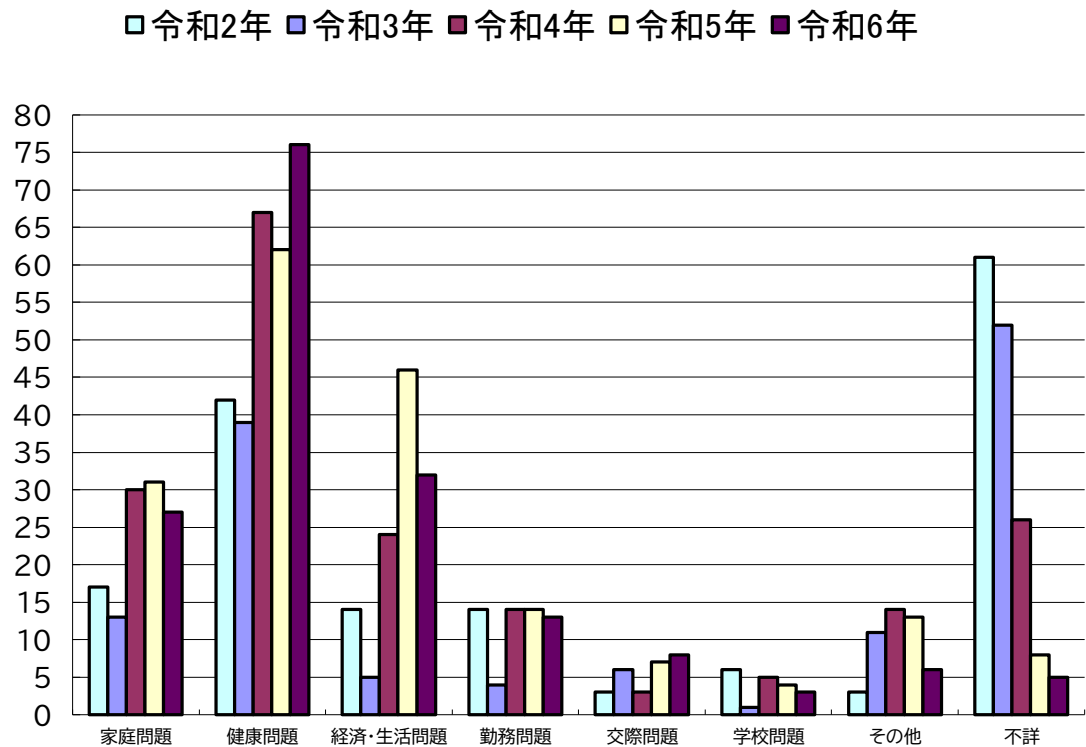
< 表6. 原因・動機別自殺者数と割合 >

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
家庭問題	17	10.6	13	9.9	30	16.4	31	16.8	27	15.9
健康問題	42	26.3	39	29.8	67	36.6	62	33.5	76	44.7
経済・生活問題	14	8.8	5	3.8	24	13.1	46	24.9	32	18.8
勤務問題	14	8.8	4	3.1	14	7.7	14	7.6	13	7.6
交際問題	3	1.9	6	4.6	3	1.6	7	3.8	8	4.7
学校問題	6	3.8	1	0.8	5	2.7	4	2.2	3	1.8
その他	3	1.9	11	8.4	14	7.7	13	7.0	6	3.5
不詳	61	38.1	52	39.7	26	14.2	8	4.3	5	2.9
総計	160	100	131	100	183	100	185	100	170	100

※自殺の原因・動機に関して、令和3年までは、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能とされていたが、令和4年からは、家族等の証言から考える場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能となった。このため、単純に比較することはできない。割合は計上数総計から算出。



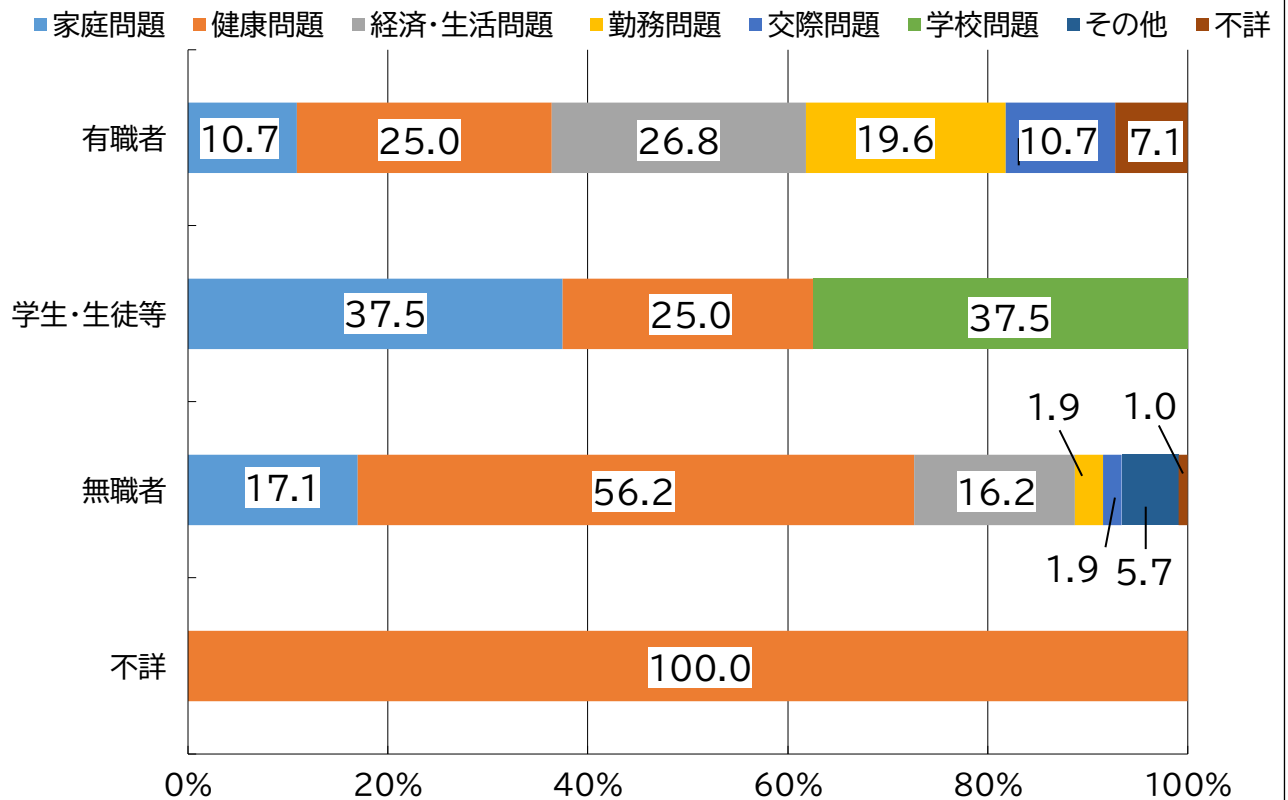
【 図7. 令和6年における原因・動機の割合 】



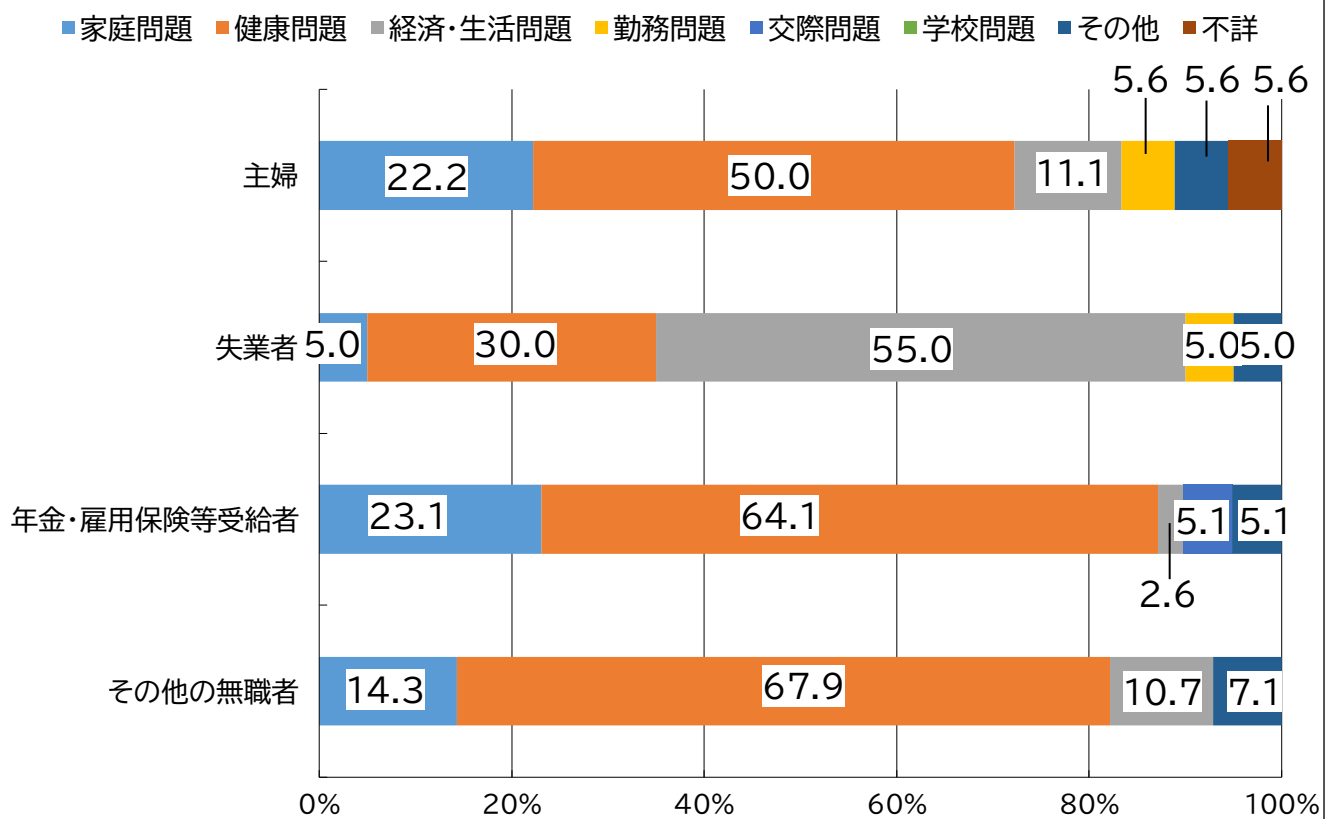
【図 8. 原因・動機別自殺者数の推移 】

< 表 7. 令和 6 年における年齢階級別の原因・動機順位 >

	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)
10 歳代～ 20 歳代	経済・生活問題	25.0	健康問題	21.9	勤務問題	15.6
30 歳代	健康問題	57.1	経済・生活問題	21.4	交際問題	14.3
40 歳代	健康問題	37.5	経済・生活問題	25.0	家庭問題	12.5
50 歳代	経済・生活問題	28.9	健康問題	26.7	家庭問題	17.8
60 歳代	健康問題	90.9	家庭問題	9.1		
70 歳代	健康問題	87.0	家庭問題	8.7	その他	4.3
80 歳以上	健康問題	47.6	家庭問題	38.1	経済・生活問題	9.5
全年代	健康問題	44.7	経済・生活問題	18.8	家庭問題	15.9



【 図9. 令和 6 年における職業別原因・動機の割合 】



【 図 10. 令和 6 年における無職者の原因・動機の割合 】

< 表 8. 原因・動機の判断材料 >

	令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
遺書	34	27.2	28	26.2	35	24.1	51	33.1	48	29.8
自殺サイト・メール等 書き込み	5	4.0	3	2.8	8	5.5	7	4.5	7	4.3
その他の生前の言 動、家族等の証言	26	20.8	24	22.4	76	52.4	88	57.1	101	62.7
該当なし	60	48.0	52	48.6	26	17.9	8	5.2	5	3.1
総計	125	100	107	100	145	100	154	100	161	100

※原因・動機の判断材料は、自殺者一人につき複数計上されている。割合は計上数総計から算出。

5 自殺未遂歴の状況

令和6年の自殺者の 16.7%に自殺未遂歴があり、男女別では、男性が 14.9%、女性が 20.0%であった。(表 9)

< 表 9. 自殺未遂歴の状況 >

		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
		自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
未 遂 歴 あ り	男性	12	15.2	18	24.7	14	17.9	12	14.1	13	14.9
	女性	12	27.3	10	31.3	17	36.2	17	38.6	9	20.0
	総計	24	19.5	28	26.7	31	24.8	29	22.5	22	16.7
未 遂 歴 な し	男性	54	68.4	50	68.5	52	66.7	59	69.4	71	81.6
	女性	26	59.1	20	62.5	25	53.2	21	47.7	36	80.0
	総計	80	65.0	70	66.7	77	61.6	80	62.0	107	81.1
不 詳	男性	13	16.5	5	6.8	12	15.4	14	16.5	3	3.4
	女性	6	13.6	2	6.3	5	10.6	6	13.6	0	0
	総計	19	15.4	7	6.7	17	13.6	20	15.5	3	2.3